

地域の雇用開発等に関する調査研究

群馬県桐生市・静岡県清水市

昭和40年代の後半，第1次石油ショック以降，我が国経済は高度成長から安定成長へと，路線の転換を余儀なくされた。これに伴って，地場産業を中心とする地域経済は停滞し，これを主たる支え手とする雇用の安定が失われる危険

が大きくなった。このような情勢を背景として，地域を狭い範囲に限定し，従来不足していた地方企業の労働に関する資料を収集し，地域産業の基盤の強化，活性化，また地域住民の雇用と生活の安定を図るための調査研究を行った。

<主査>

・小泉幸之輔 日本大学教授

<研究委員>

- ・井上 捷夫 日本経営者団体連盟
労働管理部雇用課長
- ・工 藤 正 雇用職業総合研究所
研究員
- ・鈴木 直和 労働省職業安定局
雇用政策課中央雇用計画官
- ・沢田陽太郎 (前任，同 上)
- ・鷹 取 昭 日本大学教授
- ・田子 祐三 日本商工会議所
産業部労働課長

目 次

第I部 序 論

第II部 桐生市調査

第1章 桐生市の産業と雇用

第2章 事業所調査

第3章 従業員調査

第III部 清水市調査

第1章 清水市の産業と雇用

第2章 事業所調査

第3章 従業員調査

第IV部 調査結果の要約

付 録 集計表・調査票